

二丈中学校だより「真理」(まこと) 第2号

校訓 自主 共感 健康

めざす学校像 「人にやさしい 自然にやさしい はずむように学び合う学校」

糸島市立二丈中学校 平成27年5月25日(月) (文責 校長 坂本美紀子)



感動！日本一の体育祭！

5月17日(日)、薫風颯々、絶好の体育祭日和の下、多くのご来賓、保護者・地域の皆様にご臨席いただき、平成27年度二丈中学校体育祭を開催しました。



生徒たちは、体育祭スローガン「声心一体」の達成に向け、応援の声、励ましの声、情熱の声を大切にしながら、ブロックの団結を強固にし、一人ひとりが全力を尽くし、「二丈中の歴史に残る最高の笑顔と感動溢れる体育祭」を創り上げました。1学期最大の行事を見事にやり遂げた生徒たちに大きな賞賛の拍手を贈るとともに、校長として生徒たちを心から誇りに思います。

入学からわずか1か月余りの1年生の一途な姿、来年は僕たちの番だという自覚を持って1年生をリードする2年生の姿、絶対ブロック優勝を勝ち取るぞと言う3年生の気迫溢れる姿、各種目で見せたとびっきりの笑顔、悔し涙やうれし涙、どれもこれもが美しく感動いっぱい体育祭でした。また、真心込めて体育祭運営に力を尽くした生徒会役員や整然としかも情熱的にブロックをまとめ上げたブロック長・副ブロック長のやる気とリーダーシップ、戦後70年と言う節目に、伝統のエイサーにさらに輝きを加えたエイサー委員とチョンダラーの熱い思い、おしゃれな入場門を製作した美術部生徒の芸術性が体育祭の成功を陰で支えました。その献身的な働きに感謝します。

この体育祭で得た「感動」「感激」「感謝」「達成感」を、この後の学校生活のエネルギーに変えて、さらに笑顔とおもてなしの心溢れる『はずむ二丈中学校』にしてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様の温かいご声援や競技へご参加、誠にありがとうございました。

(体育祭感想抜粋)

- ★体育祭を終えて、僕は感じたことがあります。それは、『団結力』です。団結するって、こんなに熱く燃え、こんなに一生懸命になれることを初めて知りました。この団結力で、合唱コンクールも優勝、金賞を取りたいです。(1年生)
- ★来年は自分たちが3年生で一番上に立つので、もっと自覚を持って1・2年生を引っ張っていけるようになりたいです。僕は来年はチョンダラーをやりたいと思っています。なぜなら僕は沖縄戦のビデオを観て戦争の残酷さを知ったし、沖縄の米軍基地に行った事もあるし、僕のひいおばあちゃんは戦争体験者で、お話も聞いていました。中学校でその戦争の地であった沖縄復興の力になったエイサーと出会いました。僕は戦争があったにもかかわらず、笑顔でエイサーを踊っていた沖縄県民に胸を打たれました。来年は、絶対にエイサー優勝をして、完全優勝しようと思いました。(2年生)
- ★中学校生活最後の体育祭で、総合優勝も、エイサーで優勝もできなくて悔しい気持ちもあったけど、みんなで努力してきた分、達成感や感動を味わうことができました。エイサー委員となってきついこともあったけど、支えあいながら、一つ一つの壁を乗り越えていったこの体育祭で、たくさんのことを学び、大きく成長したと思います。結果より大切なことをたくさん感じてきたこの体育祭は、本当に最高でした。(3年生)
- ★二丈中の体育祭では、A・B・Cブロックが全力で戦い、とてもドキドキの体育祭でした。どのブロックが優勝してもいい中、皆が熱くなり時には笑ったり、泣いたり、怒ったり、励まし合ったりと感動できる体育祭でした。そして、やっぱり大切なのは声だと思いました。マイナスの事を言えば皆のテンションが下がるけど、今回の体育祭はプラスの発言がとても多いように感じられました。午前中では「3位かあ・・・」という声が多かったけど、午後からは「次に1位取ればいける！」などのプラスの考えができたと思います。そうすると皆のテンションが一気に上がり、1位や2位を取ることができました。だから今後の学校生活でも、生徒会スローガンを意識していきたいです。(3年生)
- ★体育祭を終了した瞬間の時は、悔しい！の一言でした。ブロック長、副ブロック長は勿論、エイサー長もブロック委員も誰よりも大きな声を出してみんなを仕切っていたのに優勝できなかったからです。チョンダラーも声がつぶれてまでも頑張ったのにチョンダラー賞も取れなかったからです。でも皆と一緒に喜んで、一緒に笑って、一緒に泣いて、気持ちをこんなにも共有できることは他にはないと思いました。だから、悔しい気持ちはあったけど、楽しかったって最後は笑って言えました。ブロックの目標でもあった「全員バカになり盛り上がり」っていうのは、本当に出来ていたなって思いました。(3年生)

平成27年度 生徒総会実施

スローガン「VOICE～あいさつの声、思いやりの声、正義の声～」

4月24日(木)に、生徒総会を実施しました。今年度の活動方針の提案の後、修正案審議を行い、最後に各クラスの学級目標を発表して閉会しました。議長の3年生大庭直人君、土橋未歩さんの冷静な議事進行のもと、生徒会を支え協力しようという意見が多く出されました。今年度の生徒会活動の発展・充実が大いに期待できます。全校生徒には、①皆が守らなければならないことを優先すること。②何事もく人のために>と考えて実践すること。③生徒会役員が何をしてくれるかではなく、生徒全員が生徒会の一員として、生徒会のため学校のために何ができるか考え実践すること。以上3つのことを心がけて、生徒会活動に取り組んで欲しいと願っています。

【平成27年度生徒会役員】



生徒会長	松本	綜太
副生徒会長	重富	和楽
副生徒会長	久保	公祐
書記	梶原	千暖
学習委員長	谷口	真子
生活・環境委員長	山口	大也
図書・放送委員長	居石	正道
保健・給食委員長	梅本	結衣



「不審者対応教室」実施

22日(金)に糸島警察署から2名とスクールサポーター1名の計3名を講師に招いて「不審者対応教室」を実施しました。不審者に遭遇した時の対処の仕方や簡単な護身術を教えていただきました。生徒たちは、この問題を身近な事と捉え、真剣に聞き入っていました。その中で講師の先生方は、「自分は大丈夫だと思わず、自分が不審者にあつたらどうするか、その意識を常に持ち続けることが、自己防衛につながります。」と特に強調されていました。要は、隙を見せないことです。夜道での一人歩きや音楽を聴きながら、あるいは、スマホや携帯電話を操作しながらの歩行は、自分の無防備さをさらけ出す行為であり、厳禁です。もし、不審者に遭遇した場合は、

- ①相手から目をそらさない。②大きな声を出し、助けを呼ぶ。
- ③防犯ブザーを鳴らす。④自分のかかとで相手の足を踏みつける。
- ⑤持っているバックなどで相手をたたく。

などの対応を心がけましょう。【文責：主幹教諭 中村信彰】



【5・6月の主な行事予定】

5/27日(水) 暴力団排除教育	11日(木) 歯科検診	20日(土) 土曜出校、学校公開日
6/1日(月) 3年学力診断テスト	13日(土) 糸島区中体連陸上競技大会	授業参観、学級懇談会
1日～3日 1年勉強合宿(波戸岬)	15日～19日 教育相談週間	1年：エネルギー学習
4日(木) 全校集会	17日～19日 期末考査	2年：修学旅行説明会
6日(土) 土曜出校、学校公開日	12日～19日朝 部活動中止	3年：授業
1・2年：地域貢献活動		22日(月) プール授業開始
3年：食育(九大連携)		23日(火) 福岡県学力調査(2年)

P T A 活動

09日(土)に実施した通学路の除草作業におきましては、環境委員やおやじの会の皆様のご協力で、通学路はもとより道路沿いの花壇も見違えるような景観となりました。暑い中での作業、心より感謝いたします。ありがとうございました。

【コーヒーブレイク】

今年も灼熱の夏のように全校生徒が燃える体育祭が終わった。二丈中の体育祭について改めて考えてみた。本校体育祭の特色は、歴代の生徒や先生方によって「生徒一人ひとりの感動と成長ストーリー」が生まれる素晴らしい構成に進化し続けていることだ。私は、そのストーリーの核となる「ひと」が、生徒会と正副ブロック長を中心にした全校生徒であり、「もの(魂)」が『二丈魂(二丈中DNA)』つまり『伝統を受け継ぐ心』であり、「こと」が『エイサー』であると思う。今年は、1位と3位の差が10.5点で、どれかの種目の順位が入れ替わっていたら、どのブロックも優勝の可能性があったという、実にスリリングで見応えのある体育祭だった。きっとどの生徒も“感動”と“充実感”“達成感”を実感したことと思う。また、私が体育祭で最も「二丈中ブランド」を感じる場面は、「エイサー」と最後に生徒全員が肩を組んで歌う「ノーサイド」の瞬間だ。今年は、生徒会長の松本君と優勝ブロック担任の樋元先生と肩を組んで歌った。生徒と一緒に成功を分かち合った。至福の時をくれた生徒たちに感謝！！VIVA二丈！！(二丈中万歳)